

島根県国語教育実践史料目録と解説

A Bibliography of the Works on the Study of Japanese Language Education
in Shimane prefecture

田中 瑩 一・池 淵 昌 志・小 林 富 美
河 原 靖 子・昌 子 佳 広・菅 本 至 洋

Eiichi Tanaka, Masashi Ikebuchi, Fumi Kobayashi
Yasuko Gohara, Yoshihiro Shoji, Yukihiko Sugamoto

まえがき

島根大学教育学部国語教育研究室では、折ある毎に明治以降の島根県における国語教育実践史料の収集につとめて来たが、平成8年（1996年）までにある程度の集積がみられたので、平成8年度後期大学院の授業「国語科教育演習」（田中瑩一担当）の一環としてこれら史料の内容調査を行い、研究資料としての評価を試みた。以下に、受講生の共同研究として作成した史料目録と解説を掲げる。

国語教育実践史記述の試みはようやく緒についたばかりであって、方法論も未熟で、暗中を模索することが多いが、とかく散逸しがちなその一次資料の発掘と整備が研究進展の基礎であることは言をまたない。ここにとりあげた資料は、一定の方針のもとに組織的に収集されたものではなく、日常の研究室の教育研究活動に付随して自然に集積されたものであって、時代的にみても分野的にみてもまた地域的にみても精疎のばらつきが大きく、当地の国語教育実践史の記述にたえるところまで至っていないが、今後の集積のための呼び水になることを願ってとりあえず整理して報告することとした。

われわれは実践史料を以下のA)～C)のように分類してとらえた。

A) 教師側の教育活動を示す史料、……実践報告、研究発表、学習指導案などが含まれる

B) 学習者の学習活動やその成果を示す史料……学習ノート、作文集などが含まれる

C) 教材、学習材として用いられた史料……教科書、副読本、参考書などが含まれる

さらに「理解」「表現」等の領域的な観点を導入して史料評価をすすめた。その成果の一端は解説に示す通りであるが、本稿の目録部分には分類の観点を加えず、年代順に配列する方法をとった。史料目録の作成にあたっては、ASCII（アスキー）社製データベース作成・管理支援ソフト「The CARD ver 7.0」（Windows95環境下で作動）を活用し、データベース化を図っているので、さまざまな観点からの検索が可能となっている。

凡 例

資料目録に示す各項目の内容及び凡例は以下の通りである。

- | | |
|---------------|---|
| ・史料番号 | 全史料に付した通し番号。 |
| ・種 類 | 史料の種類を下記によって分類した。
ローマ字記号 前述、A) B) C) の通り
算用数字記号 0) 総記：下記分類のいずれにも含まれないもの
1) 研究大会等開催要項に類するもの
2) 研究大会等発表資料に類するもの
3) 学習指導案に類するもの
4) 作文・綴方集に類するもの
5) 教科書／副読本／郷土読本などに類するもの |
| ・領 域 | 指導領域を下記によって分類した。
0) 総記：下記領域のいずれかを特定し得ないもの
1) 理解（読むこと・読解）
2) 表現（書くこと・作文）
3) 音声（聞くこと・話すこと）
4) 言語事項
5) 書写・書道
6) 古典
7) 読書
8) 単元学習 |
| ・作成年 | 史料の作成年を西暦で表した場合の下3桁の数。 |
| ・史料名 | 史料表書き等に従った。 |
| ・作成者・
機関等名 | 同上。 |
| ・備 考 | 史料の内容等について若干の説明を加えた。 |

また、史料の配列は以下の①から④の優先順位によっている。

- | |
|------------------------|
| ①作成年の昇順 |
| ②「領域」算用数字による分類番号の昇順 |
| ③「種類」のうちローマ字による分類のABC順 |
| ④「種類」のうち算用数字による分類番号の昇順 |

島根県国語教育実践史料 目 録

史料 番号	種類	領域	作成年	史 料 名	作成者・ 機関等名	備 考
1	B	4	2	879 穎才新誌(明治12年12月 ～13年7月)／名著学庭新 誌(明治13年5月～7月)	林斧助／学庭社	明治期の青少年投稿雑誌(全国版)。 島根からも仁多町、松江から投稿さ れている。
2	B	4	2	880 拾玉文鈔	編集兼出版人、 山本良次郎	島根県における作文投稿雑誌。13 号、18号、19号、22号、24 号、26号があり。作成年は13号 のもの。
3	B	4	2	895 作文集 杉原瓣太郎	杉原瓣太郎	高等科2年から3年までの作文帳。 甲乙丙による教師の評価がある。
4	B	4	2	903 綴方集 杉原金之助	杉原金之助	明治36年度、37年度、高等科3 年、4年時の綴り方帳。教師による 添削・評価がある。地域は内容から 仁多郡であると思われる。
5	A	0	0	932 島根県女子師範学校校友会誌	島根県女子師範学 校校友会	115号(S7)、119号(S10)、 121号(S10)の3冊。袋入。
6	C	5	0	933 郷土読本 松江市雑賀尋常小学校	松江市雑賀 尋常小学校	巻一から巻四まであり、一は発行年 月不明、二はS9年、三は同8年、 四は同10年。
7	B	4	2	933 昭和八年三月 卒業文集	不明	内容から、大田市のどこの尋常小 学校と思われる。詳細不明。袋入。
8	C	5	0	934 箴川読本 下巻	箴川郡教育会	郷土読本。
9	A	0	2	934 昭和九年度 研究発表一東 古津訓導	松江市雑賀 尋常小学校	6編の論文を収録。労作教育、公民 教育、郷土教育、映画教育、職業指 導の各分野から、国語教育について 論ずる。
10	C	5	0	935 阿宮郷土読本(上巻)	箴川郡出西村阿宮 小学校卒業生会 (代表：小村秀吉)	尋常科5・6年用。
11	A	4	2	935 国語 創刊号・第四号・第五 号	島根国語教育人会	島根県における教育研究論文集。
12	B	4	2	935 児童 詩・歌・集 第一輯・ 第四輯(合本)	得能芳雄	第一輯は昭和10年、第四輯は昭和 16年のもの。
13	A	0	2	936 この学校に方策する大衆化	得能芳雄	綴方主任と全校施設の章に掲載。 「児童文の批評会の計画」「家庭訪 問と綴方教育」「作品発表の機会」 「全校綴方教育の体系」「校長の協 力的理解」について述べる。
14	B	4	2	936 開墾地 第1輯・第四號	得能芳雄	学級文集。2冊をコピーし製本。
15	B	4	2	936 綴り方島根 1	門脇眞愛 (編集者)	県下の児童生徒の綴り方(作文・詩 歌)作品と教員の作品、解説(評) などを掲載する。
16	B	4	2	936 綴方開墾 7	八束郡出雲郷村 尋常高等小学校 (代表 吉田信夫)	学校綴り方集。
17	A	0	2	937 島根国語 No.6	島根国語教育人会 (編集兼発行人 門脇眞愛)	
18	A	0	2	937 綴方拡充構図	成瀬武・河上民祐 (共編)	尋常科1年から6年までの綴方年間 指導計画。月別に記述。
19	B	4	2	937 児童文集 第十一輯下	得能芳雄	作成者名は原本所有者の宮田朝海氏 の証言による。作成年も書き込みに よる。
20	A	4	2	940 綴方掲示板1	松江市教育研究会 綴方部	児童作品と評、及び教員による論文 を掲載する。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備 考
21	A	2	0	951 本校の国語教育	浜田市立 松原小学校	島根県教育委員会指定研究校としての 発表会資料。
22	A	0	1	951 生活の中から真実の文学を求 めて＝中学校における文学教 育の問題＝	高橋正（岡正）	文学教育に関する研究論文。
23	A	1	1	951 昭和26年度 中国地区 中等教育研究集会 参加手引	文部省 島根県教育委員会 島根大学	島根大学教育学部附属中学校での公 開授業指導案概略を含む。
24	A	0	8	951 益中教育計画	益田町立 益田中学校	「第4回研究報告」とある。国語科 は、単元担当の他に単元「ことばを 正しく」の具体的展開がある。
25	A	0	0	952 学年の特性と教育—自立教育 をめざして—	島根大学教育学部 附属小学校	研究協議会の開催要項兼指導案集。 国語指導案、3年「こども会」夏野 チズエ、5年「働く人々」得能芳雄
26	A	0	0	952 (試案) 島根県教育課程の基 準(能力表) — (小学校) (中学校) (国語科) —	島根県 教育課程審議会	史料番号27の作成のための、事前 検討資料。
27	A	0	0	952 小学校・中学校 国語科能力表試案	島根県教育委員会 (教育課程審議会)	
28	A	1	0	952 国語科研究発表要領	長久小学校	学校における国語教育研究の取り組 みをまとめた冊子。県教委等の研究 校指定を受けていたかどうかなどは 不明。
29	A	0	0	953 小学校複式教育課程(試案) 国語	島根県 教育課程審議会	史料番号27と同様の形で、複式学 級における国語科の教育課程編成の 資料として作成されたもの。
30	A	0	0	953 学年の特性と教育—学習指導 の更新をめざして—	島根大学教育学部 附属小学校	研究協議会の開催要項兼指導案集。 国語指導案、1年「でんわごっこ」 夏野チズエ、4年「伝記を読みまし よう」石倉利雄、5年「わたくした ちの読書」岡田透。
31	A	0	0	953 教育経営 昭和28年度	三刀屋町立 三刀屋中学校	学校における学校経営、各教科・領 域の教育方針をまとめた冊子。県教 委等の研究校指定を受けていたかど うかなどは不明。
32	A	0	0	953 国語教育実践	来島小学校	校内教員による国語教育にかかわる 論文6編を綴じたもの。
33	A	0	0	953 教育記録 自昭和22年4月 至昭和28年10月 日登中学校	加藤敏一郎	新制中学校の教育記録。国語の項は 特にないが社会科との関連で綴り方 について触れる。
34	A	1	0	953 国語教育研究発表会要項	簸川郡平田町立 東小中学校	県教委・平田町教委主催による国語 教育研究発表会の要項。発表事項： 習字、漢字、学習環境、作文単元、 書取、発音について。
35	A	3	0	953 大原郡学校協議会 国語教育 研究発表会(学習指導案集)	大東町立 大東中学校	単元、1年「すぐれた人々」、2年 「助数詞とはどういうものか」、3 年「ことばの姿」の各指導案と発表 資料。
36	A	3	0	953 国語科の研究発表会要項	出雲市立 大津小学校	出雲市教委、出雲市教研主催による 国語科研究発表会要項と指導案(1 ～6年各1)。
37	A	0	2	953 第二回 教科学習指導研究集 会記録	三刀屋町立 三刀屋中学校	
38	A	3	2	953 国語の研究(2冊)	簸川郡平田町立 東小中学校	

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
39	A	3	2	953 指導案	粕淵小学校	
40	B	4	2	953 あゆみ だい4号	八東郡本庄村立 本庄小学校	
41	B	4	2	953 あゆみ 第5号	八東郡本庄村立 本庄小学校	
42	B	4	2	953 おもいで 昭和27年	長久小学校 6年1組	学級卒業記念文集。
43	B	4	2	953 みどりが丘 1952年	長久小学校児童会	児童文集。教員による作品も掲載。
44	A	2	4	953 漢字指導の一考察 (付、漢字頻数表)	常松秀延	島根県教委、平田町教委主催による 国語教育研究会における発表資料。
45	A	0	0	954 文学教育をめぐる文学論	高橋正(岡正)	文学教育における読書指導や作文指 導の問題をめくり、文学のはらむ問 題性に触れながら述べられた論文。
46	A	3	0	954 国語教育研究発表会要項	平田市立 久多美小学校	平田部教研、平田町教組主催による 国語教育研究大会の要項。指導案、 1年「子りすのぼうる」、3年「子 ども会」、2年「おてつだい」、5 年「ことばの研究室」がある。
47	B	4	2	954 やつか (八東郡小・中学校文集)	八東郡教育研究会 国語部会	発行母体は号により異なる。初期は 「八東作文の会」が主管。現存号： 第3集、同(中学年部)、第6集、 第7集(中学部)、第8集(小・中 学部)第9号(低・中学年各編)、 第10号(中学部)、第11号(中學校 用)、第21号(中學校編)、第28号 、第29号(低・中・高学年各編)、 第31号(中學校)、第33号(中學校)。作成年は第3集のもの。 各会場ごとに放送を利用した教科学 習の発表と討議の記録。
48	A	1	0	955 昭和30年度 放送教育特別 研修会記録 福井・仙台・吉 野・玉造各会場	放送教育研究会 全国連盟	
49	A	0	0	956 昭和31年度国語単元配当表	松江市立 津田小学校	教材をいくつかの単元にまとめ、年 間に配当した計画表。1年から6年 まで。
50	A	0	0	956 学習指導の今日的課題とその 対策	島根大学教育学部 附属小学校	研究協議会の開催要項兼指導案集。 国語指導案、4年「わたしたちのけ き」岡田透、6年「芸術の秋」石倉 利雄。
51	A	3	0	956 指導案「燈台を守る人」 (小5)	前田節夫	学校等の詳細不明。
52	B	4	2	956 詩集 やつか 第2集	八東郡国語教育 研究会	八東郡内小中学生の詩を掲載する。
53	A	3	4	956 指導案「単元 ことばあそび (ことばつなぎ)」(小1)	松本節子	
54	A	2	7	956 学習に結びつく本校の学校図 書館(図書館研究第三集)	玉湯町立玉湯小学 校児童図書館	昭和29・30年度の研究発表。
55	A	1	0	957 松江市中学校教育研究会要項 (中学校創立十周年記念)	松江市教育委員会 松江市中学校長会	研究発表に「中学生の国文学史」豊 田富士紀(松江二中)がある。
56	A	4	2	957 赤ペン 3号	八東作文の会	研究サークル「八東作文の会」の、 昭和32年6月例会の記録をまとめ たもの。B4版プリント。
57	A	0	0	958 国語教育の実践と研究Ⅱ 研究紀要	島根県国語教育 研究会	県内小・中・校教員による実践研究 論文15編を収める。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備 考
58	A	0	1	958 学力を高めるための問題点とその対策—国語学習における読解力の問題について—	出雲市立教育研究所 所研究中心校・出雲市立第二中学校	昭和31年に発足した「出雲市立教育研究所」の研究報告書。
59	B	4	2	958 おか (八束中学校生徒会文集)	八束町立 八束中学校生徒会	33年発行のものと、34年発行のもの2冊。
60	A	0	4	958 斐川の教育 研究紀要第三集	斐川村教育会	国語科 P5～14、文法指導についての実態調査(子どもの文法力)をふまえた研究論文。
61	C	5	4	958 ことばのしおり 家庭教育シリーズ第3集	松江市立 雑賀小学校国語部	A5版冊子。
62	A	0	1	960 中学校第1学年の授業記録 「魚の回遊(東書1年下)」	岡正	
63	A	0	2	960 作文の会記録(個人ノート)	曾田寛	「八束作文の会」例会での協議内容を、参加者である曾田寛氏が個人的にまとめた記録ノート。
64	B	4	2	961 母校の思い出	宍道町立 宍道中学校3A	卒業文集。指導、同校教諭(担任)曾田寛。
65	B	4	2	961 生徒作品集 昭36年度 作文・詩	曾田寛	感想文、生活文等を綴ったもの。作成者による評言の書き込みあり。
66	A	5	4	961 国語科補習授業計画 (Aコース 就職方面)	曾田寛	就職コースの生徒用の補習授業計画書・教材集。
67	A	0	2	962 作文教育入門—八束版—	八束作文の会	A4版冊子。
68	B	4	2	962 みずうみ (宍道町立宍道中学校文集)	宍道町立 宍道中学校	創刊号(37年)、第2号(38年)の2冊。
69	B	4	2	962 惜別の友	宍道町立 宍道中学校 三年二組	指導 宍道中教諭、曾田寛。
70	A	0	0	963 教科等研究団体 研究集録 第1集	島根県教育委員会	島根県国語教育研究会(会長篠原実担当者川島弘)の昭和37年度の研究活動報告を掲載。付録に年度の個人・団体研究一覧を掲載。
71	A	0	2	963 高等学校の作文教育の諸問題	小川輝夫	昭和38年度中国地区工業教育研究大会、国語部会研究発表要項。
72	B	4	2	963 あきば (松江市立秋鹿中学校文集)	松江市立 秋鹿中学校	創刊号(38年)、2号(39年)3号(40年)、4号(41年)の4冊。
73	A	0	0	964 島根大学教育学部附属小学校 第13回研究発表協議会 研究発表要項・学習指導案	島根大学教育学部 附属小学校	国語科協議題目「国語科における授業の構造化」。国語指導案、2年「おとうさん」森詔三、3年「せつ明文を読む」岡田透、3・4年「童話や物語を読もう」永見弘。
74	A	1	0	964 昭和39年度西日本地区国語 教育研究協議会(開催要項)	文部省 島根大学 島根県教育委員会	
75	A	2	3	964 話しことば(方言しらべから)	三上淑子	方言の問題を考えながら、国語学習の中での話し言葉の指導についての留意事項等についての私見をまとめた報告資料。
76	A	0	4	964 「ことばのきまり」指導の系 統と計画	松江市中学校 国語研究部	中学校における指導系統表と指導計画表。
77	A	2	4	964 敬語指導上の問題点と学校放 送利用	山根秀富	昭和39年度西部地区国語教育研究協議会、小学校部会発表資料。
78	A	0	0	965 研究紀要 第6回 育研究大会	島根県教 育研究会	

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
79	A	0	0	965 昭和40年度 初等教育教育 課程研究指定校 中間報告書	松江市立 白潟小学校	
80	A	1	0	965 第6回島根県教育研究大会 (兼昭和40年度小中学校教 育課程研究集会島根県大会) 開催要項	島根県教育研究会 浜田市教育研究会	国語研究発表主題一覧を掲載。
81	A	2	1	965 昭和四十年 初等教育教育 課程研究指定校 中間報告書 資料 (国語科)	松江市立 白潟小学校	物語文、説明文などを教材とした1 5編の実践報告書を綴ったもの。
82	A	4	2	965 やつか作文の会例会資料	曾田寛	研究サークル「やつか作文の会」に 参加していた曾田寛氏が例会の際に 作成した資料。年度やテーマはさま ざまだが、一括して袋に収めた。
83	A	0	3	965 小学校1学年における言語表 現の指導についての一考察— 話しことばにおける文意識の 育成を中心として—	松下済三郎 松原忠晴	島根県立教育研究所・研究紀要33 —3に掲載。
84	A	0	0	966 島根国語懇話会 昭和41年度会員名簿	島根国語懇話会	地区別・校種別名簿。
85	A	1	0	966 第7回島根県教育研究大会 事前研究の手引き 中学校	島根県教育委員会 島根県教育研究会	
86	A	1	0	966 第7回島根県教育研究大会 事前研究の手引き 小学校	島根県教育委員会 島根県教育研究会	
87	A	3	1	966 指導案「物語を楽しんで読む (いっすんぼうし)—豊かな感 情をつちかうための読み— (小1)	小池美佐子	
88	A	3	1	966 指導案「月夜のバス」(小2)	小池美佐子	
89	A	4	2	966 こどもの作文力をのばすには どんな指導をすればよいか— 指導過程とスキルトレーニン グ—	松野昇	6年を対象とした作文指導の実践報 告書。
90	B	4	2	966 昭41年 生徒作品綴り (長編) 松江一中三年	曾田寛	中学校3年生の作文を指導者である 曾田氏が私的に綴ったもの。
91	B	4	2	966 41年度生徒作品綴り	曾田寛	中学校3年生の作文を指導者である 曾田氏が私的に綴ったもの。
92	B	4	2	966 城山10 (鹿島町立講武小学校文集)	鹿島町立 講武小学校国語部	児童、保護者、教師による文集。
93	B	4	2	966 生徒作文 論説	曾田寛	論説文を書く学習における生徒の作 品。封筒に収められている。
94	B	4	2	966 昭和41年度 松江一中三年作文	曾田寛	「先生」をテーマにした生徒作品を 指導者である曾田氏が私蔵されて いたもの。散逸を避けるため封筒に収 めた。
95	B	4	2	966 41年度 生徒作品(長文) 一中3年	曾田寛	中学校3年生の作文を指導者である 曾田氏が私的に綴ったもの。
96	A	0	4	966 「ことばのきまり」 指導の系統と計画	松江市中学校 国語研究部	中学校各学年の指導計画表。
97	A	0	1	967 物語教材のおさえどころ 読ませかたのくふう	松江市小学校 国語部	機関誌「まつえ国語」の10号まで を物語教材の読解指導にしばって再 編集したもの。
98	A	0	1	967 都万小学校教育 No.3	穂地郡都万村立 都万小学校	都万小学校研究紀要。
99	A	0	1	967 文学作品の鑑賞指導を成り立 たせるもの	岡正	

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
100	A	0	1	967 島根大学教育学部附属小学校 第16回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語科協議題目「創造性の開発をめ ざす読解指導」。国語指導案、1年 「こりすとふうせん」川角尊慈、3 ・4年(複)「物語を読もう 3年 「とびこみ」・4年「2ひきのリュ ウ」永見弘、5年「大きなしらか ば」森昭三。
101	A	2	1	967 主体的な読みを確立するため には指導過程をどのようにし たらよいか	小池美佐子	第6回松江市教育研究大会、国語部 会発表資料。
102	A	3	1	967 指導案「五色のしか」(小3)	小池美佐子	
103	A	3	1	967 指導案「アフリカのたいこ」 (小3) (主体的な読みを 確立するためには指導過程を どうしたらよいか)	小池美佐子	
104	A	3	1	967 第8回 隠岐地区教育研究会 学習指導案(開催要項)	隠岐地区都万村立 都万小学校 同 那久小学校	
105	B	4	2	967 42年度 生徒作品綴 (松江一中 2年生)	曾田寛	中学校2年生の作文を、指導者であ る曾田氏が私的に綴ったもの。学 習プリント「自己を見つめる文章」 「修学旅行記作成について」、第17 次教研発表資料「説明的文章の表現 指導について」を含む。
106	A	0	1	968 国語創造特集号 文学作品の 鑑賞指導Ⅱー倉沢講師講義を 中心にー	島根国語懇話会	A5版冊子。昭和42年度第11回 島根国語懇話会研究集会における倉 沢栄吉氏の講義録を中心としてまと められたもの。
107	A	0	1	968 まつえ国語特集号 No.2 読 解過程にみられるいくつかの よりどころ	松江市小学校 国語部	
108	B	4	2	968 読書感想文(学級読書会・市 コンクール) 43年	曾田寛	中学校3年生による、作文構想メモ をもとにして書いた作文5編、読書 感想文15編を、指導者である曾田 氏が私的に綴じたもの。
109	B	4	2	968 ともしび 作品集	曾田寛	松江市中学校生徒作文集、「ともし び」第16号より第18号までの3 冊と生徒作文を綴じたもの。
110	A	3	7	968 指導案「かがみの中の犬」 (小3)	小池美佐子	
111	A	3	7	968 指導案「ヒマラヤのりゅう」 (小3)	小池美佐子	
112	A	3	1	969 指導案「2ひきのリュウ」 (小4)	小池美佐子	
113	B	4	2	969 うえい (松江市立第一中学校文集)	松江市立 第一中学校	第一号(44年)、第二号(46年) 第三号(48年)の3冊。
114	A	0	0	970 博報児童教育振興会への島根 国語懇話会に対する助成推薦 状	山根虎之助	
115	A	0	0	970 中学校新教育課程研究一移行 措置を中心にして一 第二集	松江市立 第二中学校	
116	A	0	0	970 島根の国語教育史一昭和初期 から現在に至るまで一	青木浩子	島根大学教育学部卒業論文。
117	A	0	0	970 島根国語懇話会 昭和45年度 会員名簿	島根国語懇話会	

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
118	A	1	0	970 国語通信 45年度 No.1	島根国語懇話会	会員あての通信。
119	A	1	0	970 第11回島根県教育研究大会 事前研究の手引き 小学校	島根県教育研究会 島根県教育委員会	史料名大会（開催地出雲市）の事前 研究や発表要項作成のための資料。 国語1ページ。
120	A	1	0	970 国語通信 45年度 No.2	島根国語懇話会	会員あての通信。
121	A	0	1	970 島根大学教育学部附属小学校 第19回研究発表協議会 資料一揃（袋）	島根大学教育学部 附属小学校	国語科研究主題「子どもの意識を主 軸とする読解過程」。国語指導案、 4年「ゆう便切手」永見弘、5年 「わたしたちの文字」森詔三、6年 「けむりのゆくえ」川角尊慈。他、 授業資料等。
122	A	3	1	970 指導案「色さいとくらし」 （小5）	森詔三	
123	A	3	1	970 指導案「通信の発達」（小6）	川角尊慈	
124	B	4	2	970 生徒作文	曾田寛	中学校1年生・3年生の作文。文集 ではなく、作文そのものを封筒に入 れて保存されたもの。指導者である 曾田氏の私蔵資料。
125	B	4	2	970 乃木の子（乃木小学校年間優 秀作文集）	松江市立 乃木小学校	
126	B	4	2	970 すずかけ （松江市立第四中学校文集）	松江市立 第四中学校国語部	第13号（45年）、14号（46 年）、15号（47年）、17号（ 49年）、18号（50年）、21 号（53年）、22号（54年）の 7冊。
127	A	0	6	970 島根大学教育学部附属中学校 第20回研究発表協議会 資料一揃（袋）	島根大学教育学部 附属中学校	国語研究報告書「古典の学習指導に ついて」「S-D法による作品の主 人公の意味把握の分析－古典の原文 とその現代語訳の読みとりの比較」 各教科研究報告書、公開授業資料。
128	A	3	7	970 指導案「宇宙開発の歩み」 （小5）	尾原俊司	島根国語懇話会第14回研修会（川 本町）における公開授業。「読書指 導案」とある。
129	A	3	7	970 指導案「ヒマラヤのりゅう」 （小3）	吾郷紀子	島根国語懇話会第14回研修会（川 本町）における公開授業。
130	A	3	7	970 指導案「キュリー夫人」 （小5）	山田澄子	島根国語懇話会第14回研修会（川 本町）における公開授業。
131	A	3	7	970 指導案「大うずまき（E. A. 森脇登 ・ポー作）」（中2）	森脇登	島根国語懇話会第14回研修会（川 本町）における公開授業。
132	A	1	0	971 第15回島根県国語教育研究 大会 開催要項	島根県小中学校 国語教育研究会	指導案、研究発表の概要を含む。
133	A	1	0	971 第15回島根県国語教育研究 大会発表要項	島根県小中学校 国語教育研究会 他	主題「個の適性を生かし、自主的な 読みを育てるにはどのようにしたら よいか－非文学教材を中心に」。
134	A	3	7	971 指導案「母ぐま子ぐま」 （小5）	小池美佐子	
135	A	0	8	971 島根国語懇話会第15回夏期 合宿研究集会 資料一揃（袋）	島根国語懇話会	主題「国語科における読書指導の実 践」、国語創造通信No.4、指導案 小1・小2・小6・中1・中2、各 授業資料、読解技能をふまえた読書 技能系統（案）。
136	A	0	0	972 県・国・研 第12号（島根 県小中学校国語教育研究会機 関紙）	島根県小中学校 国語教育研究会	

史料番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・機関等名	備考
137	A	0	0	972 島根大学教育学部附属小学校 第20回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	全体主題「追求力を育てる構想」。 国語指導案、6年「けん十公園林」 川角尊慈、5年「小さい牛追い」森 昭三。他、授業資料。
138	A	0	0	972 国語創造 No.35 (島根国語懇話会 機関紙)	島根国語懇話会	第16回島根国語懇話会夏期合宿研 究集会要項と主題解説他を含む。
139	A	0	0	972 県・国・研 第11号(島根 県小中学校国語教育研究会機 関紙)	島根県小中学校 国語教育研究会	
140	A	2	0	972 教科の特質 国語科	島根大学教育学部 附属中学校	附中教官が国語科の特質について協 議した成果をまとめたもの。史料番 号141作成の事前検討資料。
141	A	2	0	972 研究報告46年一1 教科の 特質 国語科	島根大学教育学部 附属中学校	文責、桑原文次郎。「国語教育の目 標」「国語科の内容的特質」「国語 科の方法的特質」の3章から成る。
142	A	2	1	972 研究報告47年一1 文章の 要約と読むことの指導 国語 科	島根大学教育学部 附属中学校	「研究の目的」「研究の基盤」「研 究の目標」「研究の仮説」「研究の 方法と計画」から成り、学習指導案 2本(宮廻正昭、田辺福夫)を掲載 する。
143	A	0	7	972 国語科における読書指導に関 する研究 第1年次報告	吉松司	史料名をテーマとする研究論文、授 業記録等。
144	A	0	0	973 国語創造 No.37 (島根国語懇話会機関紙)	島根国語懇話会	第17回島根国語懇話会夏期合宿研 究集会要項と主題解説等を含む。
145	A	0	0	973 島根大学教育学部附属小学校 第21回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	全体主題「追求力を育てる構想—子 どもの発達に注視して—」。国語指 導案、4年「はだかの王様」武上哲 夫、5年「レナド」恩田元穂、6年 「リヤ王」森昭三。他、授業資料等
146	A	0	0	973 島根大学教育学部附属中学校 第21回中学校教育研究発表 協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属中学校	研究報告書「学習過程と評価」、国 語は「構造はあくをもとにしながら 文章を要約する力とその指導」を主 題とする。他、公開授業指導案集。
147	A	0	7	973 国語科における読書指導に関 する研究 第2年次(最終) 報告	吉松司	史料名をテーマとしてまとめた論文 授業記録等。
148	A	0	7	973 読書指導 実践記録	大東町立佐世小学 校	学校単位で取り組んだ読書指導実践 二か年の記録。全体的な取り組みの 方向と、各学年実践記録を収録する 。
149	A	0	0	974 島根大学教育学部附属小学校 第22回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	全体主題「追求力を育てる構想—個 の変容をとらえなおす—」。国語指 導案、1年「ひばり」武上哲夫、3 年「ピノッキオ」森昭三、6年「け ん十公園林」恩田元穂。他、授業資 料等。
150	A	0	3	974 「きく力」をつけるための学 習指導はどのようにしたらよ いか	大田市立 波根小学校	研究論文。資料5点と研究紀要を添 付する。
151	A	1	3	974 研究紀要 きくこと教育 昭和45年度～昭和47年度	大田市立 波根小学校	きくことの学習において、各学年の 指導事項、細案、授業研究の記録な どをまとめる。
152	A	3	7	974 指導案「人が一生のしごと としてうちこんだ物語を読もう」 (小6)	野坂昌子	中心教材は「桃花片」。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
153	A	0	0	975 島根大学教育学部附属小学校 第23回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「『ことば』の背景にある子ども考え方」。国語指導案4年「とびこめ」森昭三、5・6年(複)「大造じいさんとがん」恩田元穂、2年「きつねの子のひろったていきけん」武上哲夫。他、授業資料等。
154	A	0	0	975 附属中学校 国語科研究懇話会資料	島根大学教育学部 附属中学校	「明確な認識を培う指導と評価(説明的文章の読み)」を主題に発表・討議が行われた、その提案資料。島根大学教育学部附属中学校国語部の作成する「国語通信」を含む。
155	A	1	0	975 第17回島根県国語教育研究 大会 大会要項	島根県小中学校 国語教育研究会	大会日程・公開授業指導案略案・分科会発表概要。
156	A	2	0	975 主体性・創造性を培う学習指 導—国語科—	出雲市立 第二中学校	第17回島根県国語教育研究大会(出雲市)において、学校としての取り組みを発表するための資料。
157	A	2	0	975 島根大学教育学部附属中学校 第22回中学校教育研究発表 協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属中学校	研究報告書「学習過程と評価(第2次)—学習過程のダイナミック化と評価—」。国語は「明確な認識を培う指導と評価(説明的な文章のよみ)」を主題とする。他、研究結果のまとめと教材等。
158	A	0	1	975 個を育てる読むことの指導 —付・島国懇の歩み—	島根国語懇話会	B5版冊子。
159	A	0	1	975 島根大学教育学部附属中学校 第22回中学校教育研究発表 協議会 学習指導案	島根大学教育学部 附属中学校	開催要項兼指導案集。国語指導案は1年「科学の目」間庭朗、3年「現代と余暇」田辺福夫。
160	A	2	1	975 昭和50年度中学校国語科教 育講座 資料	島根県立教育セン ター	
161	A	0	2	975 赤ペン 5(八束作文の会)	八束作文の会 (文責 宮田朝海)	9月例会の報告。参会者持ち寄りの作文の合評会記録。
162	A	2	2	975 読むことと書くことのつな がりを求めて—実践記録—	福原里司	第17回島根県国語教育研究大会(出雲市)発表資料。「作文の指導」をテーマとする。
163	A	2	2	975 読解学習と集団思考を生かし た作文指導のこころみ	西田郁郎	第17回島根県国語教育研究大会(出雲市)発表資料。「論説文を書くことの指導」をテーマとする。
164	A	3	2	975 指導案「わたしの考え わた しの提案」(中2)	田辺福夫	第17回島根県国語教育研究大会(出雲市)における出雲市立第二中学校生徒を対象とする所謂「とびこみ授業」。補助資料も添付。
165	B	4	2	975 みち (松江市立第一中学校文集)	松江市立 第一中学校	No.4(50年)～No.12(58年)の9冊。
166	A	3	7	975 指導案「戦争中に生きた人々 の物語を読もう」(小5)	野坂昌子	中心教材は「春先のひょう」。
167	A	3	7	975 指導案「坊ちゃん」(中1)	森山節子	第17回島根県国語教育研究大会(出雲市)公開授業資料。教材文、課題表、座席表等補助資料添付。「読書指導」として構想される。(指導案に明記)
168	C	0	8	975 こじん文しゅう □□の本 だいしゅう 「わたしのか ぞく」	平田市立 久多美小学校	「わたしのかぞく」と題する単元学習(2年)の手引き・ワークシート集。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
169	A	2	0	976 昭和51年度 島根県高等学校教育研究大会(国語)・島根国文学会出雲大会資料一揃(袋)	島根県教育委員会 島根県高等学校教 育研究連合会	
170	A	0	1	976 島根大学教育学部附属小学校第24回研究発表協議会資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	全体主題「子どもの追求力と発達— 変容の契機をさぐる—」、国語指導 案、5・6年(複)「小さな牛追い」 恩田元穂、5年「伝記を読む」森詔 三3年「太郎こおろぎ」武上哲夫。 他、授業資料等。
171	A	2	1	976 詩の鑑賞指導—確かな読みと豊かな情感を培うために読み手の側からの発想—	田辺福夫	第10回中国地区国語教育研究大会 中学校文学部会発表資料。
172	A	2	1	976 第20回島根国語懇話会関係資料 学習指導案1、教材研究資料3	武上哲夫、他	教材「たんぼのちえ」・「けむりの行くえ」・「子どものころのフェアブル」「にらめっこ」教材研究資料、指導案「ピノキオ」他。
173	A	2	1	976 島根大学教育学部附属中学校第23回中学校教育研究発表協議会資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属中学校	テーマ：学習過程と評価(第3次) —学習のダイナミック化をはかる指導とその評価—「報告書」「学校要覧」「学習指導案」他。
174	B	4	2	976 ともしび —松江市中学校作品集—	松江市中学校 国語研究会	95号まで。欠号は1、2、3、4 5、6、8、7、94号。作成年は第 7号のもの。
175	A	0	0	977 僻地じっせん Na1~Na10	永見弘	
176	A	0	0	977 僻地じっせん Na11~Na20	永見弘	
177	A	0	0	977 僻地じっせん Na21~Na23	永見弘	
178	A	0	1	977 島根大学教育学部附属小学校第25回研究発表協議会資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「ことばの背景をだいに じに読む子どもを育てる」。国語指 導案1年「大きなかぶ」武上哲夫、 6年「石うすの歌」森詔三、5・6 年(複)「野ばら」恩田元穂。他、 授業資料等。
179	A	3	1	977 指導案 単元「楽しく読もう1年かくれんぼ・2年いちごつみ」(複式1・2年)	永見弘	
180	B	4	2	977 読書感想文集 いずみ	江津市教育研究会 学校図書館部	14集(小学校高学年)、17集 (小学校低学年)、18集(中学校) 20集(中学校)、21集(小学校 高学年)の5冊。
181	B	4	2	977 さくぶん 1・2ねん学級	永見弘	1年3名、2年11名の児童の生活 作文集。
182	A	0	0	978 国語創造 Na42 (島根国語懇話会機関紙)	島根国語懇話会	倉沢栄吉稿「語句・語いの指導」、 第22回夏期合宿研究集会の事前協 議(座談会)記録を所収。
183	A	3	0	978 第22回 島根国語懇話会夏期合宿研究集会 語いを中心とした理解と表現の学習指導(開催要項)(学習指導案)	島根国語懇話会	
184	A	3	1	978 島根大学教育学部附属小学校第26回研究発表協議会指導案集	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「読む活動の中で自己 表現の力をどのようにひき出すか」 国語指導案、2年「きつねの子のひ ろつたていきけん」武上哲夫、5年 「むねつまりなし」森詔三、5・6 年(複)「石うすの歌」恩田元穂。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
185	A	2	5	978 基礎力をつけるための硬筆指導のあり方 —主として低学年初期における指導のあり方	大畑俊正	第11回中国地区国語教育研究大会小学校、書写領域研究発表資料。
186	A	0	0	979 島根大学教育学部附属中学校第25回中学校教育研究発表協議会 資料一揃 (袋)	島根大学教育学部 附属中学校	主題「学習のダイナミック化と形成的評価—上位領域に視点をあてた学習指導—」 国語指導案 1年「少年」川津啓義、2年「故郷」間庭朗他、「研究報告書」、授業資料等。
187	A	0	1	979 島根大学教育学部附属小学校1979年度研究紀要	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「表現の深まりを求めるとりくみと支え」。事例1「低学年における子ども自らが読みを楽しむ場とは—2年『スーホの白い馬』—」大畑俊正、2「心の動きをとらえる取り組みとその支え—5年生『わらぐつの中の神様』の実践から」森昭三、3「子どもがつくる読みを深める場 (5・6年 (複)『石うすの歌』)」恩田元穂。
188	A	3	1	979 島根大学教育学部附属小学校第27回研究発表協議会 指導案集	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「表現の深まりを求めるとりくみと支え」。国語指導案、1年「大きなかぶ」恩田元穂、6年「石うすの歌」森昭三、5・6年 (複)「むねつまりなし」武上哲夫。授業研究資料としてまとめられたものか。
189	B	3	1	979 「野ばら」学習資料	不明	
190	A	0	7	979 昭和53年度 研究集録	美保関町立福浦小学校	主題「ひとりひとりの意欲・関心を高め、追求心・表現力を伸ばし、ゆたかな創造性を育てるにはどのようにすればよいか—国語科読書指導を中心に—」。
191	A	1	0	980 第19回 島根県国語教育研究大会 大会要項	島根県小中学校 国語教育研究会	大会日程・公開授業指導案略案・分科会発表概要等含む。
192	A	2	0	980 授業へのとりくみ	益田市立 吉田小学校	第19回島根県国語教育研究大会 (益田市) 小学校部会における公開授業に際して、学校におけるとりくみの概要をまとめたもの。
193	A	3	0	980 島根大学教育実習 (古志原小学校) 学習指導案	島根大学 教育実習生	国語科は2年「かさこ地ぞう」(2編)、1年「たぬきの糸車」
194	A	3	0	980 第19回島根県国語教育研究大会 小学校部会公開授業指導案集	益田市立 吉田小学校	各学年一つずつの授業指導案。1・3・6学年は理解、2・4・5学年は表現。
195	A	0	1	980 島根大学教育学部附属小学校第28回研究発表協議会 資料一揃 (袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもがつくる読みの場を生かす授業」。国語指導案、3年「太郎こおろぎ」森昭三、5・6年 (複)「わたしたちとアニメーションやマンガの世界」武上哲夫、2年「スイミー」恩田元穂。他、授業資料等。
196	A	2	1	980 どうすれば理解力が深まるのか —その問題点と指導上の一くふう—	蓮摩郡学校教育研究会国語部会 中学年部	第19回島根県国語教育研究大会 (益田市)、中学校理解分科会発表資料。6名による共同研究発表。
197	A	3	1	980 学習指導案基礎資料	寺井昌子	第19回島根県国語教育研究大会 (益田市) における、小学校1年生の公開授業補助資料。

史料番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
198	B	3	1	980 山なし取り 参考資料	斎藤泰郎	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)における、小学校3年生の公開授業補助資料。初発感想と座席表。
199	B	4	1	980 「桃花片」初発の感想	大石敬子	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)において、公開授業に際して資料として配布されたもの。
200	A	2	2	980 喜んで書く子どもをめざして	神門洋子	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)、小学校表現(上学年)分科会発表資料。
201	A	2	2	980 効果的な作文指導のあり方 —意見文の指導—	岡本康子	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)、中学校表現分科会発表資料。
202	A	2	2	980 ものの見方・考え方を深め、 豊かに表現するための指導は どのようにすればよいか —二年生の描写練習を中心 にして—	中谷有水子	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)、中学校表現分科会発表資料。
203	A	3	2	980 指導案「友達に知らせたいこ と」(中1)	岡村智之	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)における公開授業。
204	B	4	2	980 「かみつく木の正体」他2編	益田市立吉田小学校 4年4組児童3名	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)における公開授業に際して資料として配布されたもの。
205	A	2	4	980 言語の指導—語句指導の定着 をはかるための一試案—	吉田美也子	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)、言語分科会発表資料。
206	A	2	4	980 自力で読みとる力をつけるた めに—難語句解決に着目して	烏田勝信	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)、言語分科会発表資料。
207	A	3	4	980 指導案「漢字の音訓と漢語の 組み立て」(中2)	岩崎悦子	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)における公開授業。
208	A	2	5	980 新学習指導要領と書写指導	河本清俊	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)、小・中学校合同書写分科会発表資料。
209	A	2	5	980 小学校入門期におけるひらが な指導のあり方 —意欲をも ってとり組む子— その1、 その2	板垣信子	第19回島根県国語教育研究大会(益田市)、小・中合同書写分科会発表資料。
210	A	2	7	980 魅力のある学校図書館をめざ して—進んで利用され、役立 つ図書館に—	松江市立 湖南中学校	松江市教育委員会指定、図書館教育研究報告書。
211	A	2	7	980 研究集録・第4集 図書館教 育(特別活動)	松江市立 第一中学校	松江市教育委員会指定、「昭和5455年度学校図書館経営の研究」の報告書。
212	A	0	0	981 島根大学教育学部附属中学校 第26回中学校教育研究発表 協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属中学校	主題「学習のダイナミック化と形成的評価—向上目標の設定とその評価(計画)—」 国語指導案 3年「生きるということ」川津啓義、1年「想像豊かに」間庭朗 他、授業資料等。
213	A	3	0	981 島根大学教育実習(古志原小 学校)学習指導案	島根大学 教育実習生	国語科は、5年「三人の旅人たち」1年「ものなまえ」、6年「責任というもの」、2年「目に見えるように書こう」、5年「心と言葉」。
214	A	3	0	981 島根大学教育実習(古志原小 学校)学習指導案	島根大学 教育実習生	国語科は6年「かくれんぼう」

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
215	A	0	1	981 島根大学教育学部附属小学校 第29回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが自らの考えを深める授業」。国語指導案、5・6年(複)「どろんこ祭り」武上哲夫、2年「スイミー」森昭三、1年「おむすびころりん」恩田元穂。他授業資料等。
216	A	1	2	981 第24回 島根県へき地教育 研究大会 開催要項	島根県 へき地教育研究会	国語科学習指導案3本掲載。いずれも作文指導。
217	A	3	2	981 指導案「お話をつくろう」 (小3)	板倉恵美子	
218	A	1	7	981 第19回 島根県学校図書館 研究大会 安来・能義大会	島根県 学校図書館協議会	国語科および学級指導(図書館利用指導)の指導案を含む。
219	A	2	8	981 読みを深め、確かで豊かに表 現する能力を育てるための学 習指導のあり方一言語事項に 配慮して一	大畑俊正	第22回島根県教育研究大会、小学校国語分科会発表資料。
220	C	0	0	982 教科書目録 (岩崎直樹氏所蔵)	安来市立図書館	明治期から昭和51年まで、各科の教科書等の目録。うち、国語教科書は137冊記載。
221	A	0	1	982 島根大学教育学部附属小学校 第30回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子ども自らが読みを深める授業一場と支え一」。国語指導案、2年「スイミー」恩田元穂、3年「きつねの写真」森昭三、5・6年(複)「大造じいさんとガン」武上哲夫。他、授業資料等。
222	A	3	1	982 国語訪問指導(資料一揃)	平田市立 久多美小学校	島根大学・田中登一教授による学校訪問指導に際して作成された資料。学習指導案 1年「かくれんぼ」山本絹子、2年「ひなの話」清水恵美子 他、ワークシート、文集等。
223	A	0	2	982 研究記録 研究主題「確かな 作文力を育てる一短作文法に よる練習作文を中心に一」	島根町立大芦小学 校	「全ての子どもに確かな作文力が身につくような指導」を合言葉に、学校として取り組んだ作文指導実践3か年の記録。「授業編」と「足跡編」から成り、実践記録と子どもの作品等を掲載する。
224	A	0	0	983 昭和58年度 第12回 島 根県私学教育研究大会 研究 集録	島根県私立中学 高等学校連盟	史料名大会の事後記録。
225	A	0	0	983 島根大学教育学部附属中学校 第27回中学校教育研究発表 協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属中学校	研究報告書「学習のダイナミック化と形成的評価ー実践力の育成をめざして一」、国語は「豊かな想像力を育成する文学作品の読みの指導」を主題とする。他、授業指導案等。
226	A	0	0	983 昭和58年度実践記録(第2 集)「久多美の国語」	平田市立 久多美小学校	研究主題「ことばを通して、確かで豊かな表現力、理解力を育てる指導はどのようにしたらよいか」。
227	A	2	0	983 第12回 島根県私学教育研 修会における研究発表資料	島根県私立中学 高等学校連盟	要項、資料「其角」松江第一高等学校・三代雄一。
228	A	0	1	983 島根大学教育学部附属小学校 第31回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが動き出すプロセスー読みの課題一」。国語指導案、3年「太郎こおろぎ」武上哲夫 1年「大きなかぶ」恩田元穂、4年「一つの花」森昭三。他、授業資料等。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備 考
229	A	2	2	1983 大会報告・研究紀要 昭和58年度	島根県教育研究会 島根県立教育セン ター	
230	B	4	2	1983 学校文集 みやお 第4号	島根町立 大芦小学校	
231	A	0	0	1984 島根大学教育学部附属小学校 第32回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもの読みの深まり」。国語指導案、5年「まん画を読むのは悪いか」大畑俊正、4年「キョウリュウの話」武上哲夫、2年「海をあげるよ」恩田元穂。
232	A	0	0	1984 昭和59年度実践記録(第3 集)一生き生きと学習に取り 組み自ら学ぶ子どもを育てる 指導はどのようにしたらよい か—	平田市立 久多美小学校	各学年国語科、体育科の実践例。
233	A	3	1	1984 指導案「サーカスのライオ ン」(小3)	野坂昌子	
234	A	0	2	1984 島根大学教育学部附属中学校 第28回中学校教育研究発表 協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属中学校	主題「学習のダイナミック化と形成的評価—体験性豊かな授業を創る」 国語指導案 1年「楷書」川津啓義 3年「新聞を作る」間庭朗、2年 「〇〇の本編集」永島典男 他、授 業資料等。
235	A	2	2	1984 大会報告・研究紀要 昭和59年度	島根県教育研究会 島根県立教育セン ター	
236	B	4	2	1984 4年生文集 思い出	安来市立能義小学 校昭和58年度4 年生	指導、同校教諭(担任)竹内弘子。
237	A	0	8	1984 島根国語懇話会 第28回夏 期研究集会 資料一揃(袋)	島根国語懇話会	主題「語い指導の実践—単元の発想 ・学習の充実感・内容と方法—」。 公開授業指導案、授業資料、倉沢栄 吉氏講義資料等を含む。
238	A	0	0	1985 大会報告 研究紀要 昭和60年度	島根県教育研究会 島根県立教育セン ター	
239	A	0	0	1985 島根大学教育学部附属中学校 第29回中学校教育研究発表 協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属中学校	事前打ち合わせ資料、授業資料、教 材等。
240	A	0	1	1985 島根大学教育学部附属小学校 第33回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが読みをつくる 授業—いかに自分の読みにしてい くか—」。国語指導案、5年「大き なしらかば」武上哲夫、6年「石う すの歌」大畑俊正、1年「大きなか ぶ」恩田元穂。他、授業資料等。
241	A	2	1	1985 豊かで確かな読みとりをさせ る指導はどのようにしたらよ いか—説明的文章の指導をと おして—	岩崎弥生	第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、低学年理解分科会発表 資料。
242	A	2	1	1985 物語文において読む力をつけ るにはどのようにしたらよ いか—書くことによって理解を 深める指導—	坂田伊穂子	第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、分科会発表資料。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
243	A	2	1	1985	自ら進んで取り組む国語学習 一課題解決学習を通して一	園山哲男 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、小学校高学年理解分科 会発表資料。
244	A	2	1	1985	自ら問いかけ考えを深め、い きいきと学習する子どもが育 つ指導過程	落合範子 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、小学校中学年理解分科 会発表資料。
245	A	2	1	1985	文学教材における物語の想像 読みの指導「ぼくのくろう」 を通して	元田美紀子 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、中学年理解分科会発表 資料。
246	A	2	1	1985	言語感覚を育てるにはどうし たらよいか—論説文読解指導 の中での実践—	岡本成基 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、分科会発表資料。
247	A	2	1	1985	豊かさや確かさを求めた読み の指導はどのようにしたらよ いか—「書くこと」・「読む こと」を取り入れて—	萬代昭 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、高学年理解分科会発表 資料。
248	A	3	1	1985	第21回島根県国語教育研究 大会 公開授業学習指導案	大田市立大田小学 校・同第一中学校 史料名大会における公開授業の指導 案集。小・中別冊子。
249	A	0	2	1985	昭和60年度 実践記録(第 4集)—生き生きと学習に取 り組み自ら学ぶ子どもを育て る学習はどのようにしたらよ いか—	平田市立 久多美小学校
250	A	2	2	1985	生活を見つめ書く力を育てる 指導—学級文集づくりを通し て—	藤下由美子 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、小学校中学年表現分科 会発表資料。
251	A	2	2	1985	表現力を高める効果的な指導 はどのようにしたらよいか— 文集「のぎ」の実践を通して	石本敏親 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、分科会発表資料。安来 市・能義郡中学校国語部の代表とし ての発表。
252	A	2	2	1985	自分なりの考えを書く短作文 指導	寿慧信 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、高学年表現分科会発表 資料。
253	A	2	2	1985	低学年 作文指導計画	松江市立 乃木小学校 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、分科会発表資料。
254	A	2	2	1985	くらしを切り開き自己を高め る子どもの育成—喜んで書く 子から表現の仕方を工夫する 子へ—	斉藤淑子 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、小学校低学年(表現) 分科会発表資料。
255	A	2	2	1985	楽しさの中に豊かさや確かさ のある作文指導を求めて—2 年生の指導を中心に—	上田香苗 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、低学年表現分科会発表 資料。
256	A	2	2	1985	確かな表現力を培うための作 文年間指導計画の作成	佐々木正人 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、中学校表現領域分科会 発表資料。
257	A	2	2	1985	作文指導における学習材の開 発とその教材化 学習の個別 化と学習意欲	生馬明子 昭和60年度小学校国語科教育講座 発表資料。
258	A	2	2	1985	その子らしさが生きる作文指 導—どの子も喜んで書くよう にするために—	曾田壽美子 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、分科会発表資料。
259	A	2	2	1985	豊かな言語感覚を育てる国語 教育をめざして 生活に生き ることばを表現に	青戸敬子 第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、分科会発表資料。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備 考
260	B	2	2	1985 自分なりの考えを書く短作文指導 (補助資料)	寿慧信	第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)における同題目の発表資料 (史料番号252)に添付されたものであろう。
261	B	4	2	1985 合宿訓練を百倍楽しくする方法	平田市立久多美小学校5年1組	「江津少年自然の家」に合宿訓練に行く以前に疑問を出し合い、現地で調べたことを文集形式にまとめたもの。
262	B	4	2	1985 修学旅行記 五箇中学校 年Bグループ	3 五箇村立五箇中学校3年	第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)における発表資料 (資料番号256)に添付された資料。
263	A	2	3	1985 音読・朗読の能力系統表	大田市立大田小学校	第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、分科会発表資料。
264	B	4	4	1985 いづみ (国語科学学習記録集)	生馬明子	「小さなスピーチ会の記録・敬語について考えていること」、「関与久辞典」「語句探クイズ」などの学習記録。
265	A	2	5	1985 漢字 (かな)の書写に見られる筆順の誤り (字形の乱れ)をどのようにしたらよいか	森山真有	第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、書写部会発表資料。
266	A	2	5	1985 書く喜びと基礎的技能を高める書写指導の試み—授業と全校的なとりくみの関連の中で	石橋祥男	第21回島根県国語教育研究大会 (大田市)、小中書写分科会発表資料。
267	C	0	8	1985 昭和60年度 個人文集 □□の本	□ 平田市立久多美小学校	1年から6年までの単元学習ワークシート集を一冊にまとめたもの。各学年の「細目標」一覧もある。
268	C	0	8	1985 個人文集 □□の本 第一集 第四学年「わたしの学校」	平田市立久多美小学校	「わたしの学校」と題する単元学習の手引き・ワークシート集。
269	C	0	8	1985 こじんぶんしゅう □□の本 だいいしゅう だいいがくねん わたしのこと	平田市立久多美小学校	「わたしのこと」と題する単元学習 (1年)のワークシート集。
270	A	0	0	1986 めぐりあい	岡正先生御退任記念文集刊行会	岡正氏の足跡がわかる。国語教育、図書館教育にかかわる論文、提言が載っている。
271	A	0	0	1986 島根大学教育学部附属中学校 第30回中学校教育研究発表協議会学習指導案集	島根大学教育学部附属中学校	国語科：1年「朗読を楽しむ」間庭朗、1年「私の好きな花 (書写)」川津啓義。
272	A	0	0	1986 大会報告・研究紀要 昭和61年度	島根県教育研究会 島根県立松江教育センター	
273	A	0	0	1986 島根大学教育学部附属小学校 第34回研究発表協議会 資料一揃 (袋)	島根大学教育学部附属小学校	事前打ち合わせ会資料「子どもがくる授業」。国語指導案、2年「スイミー」恩田元穂、1年「おむすびころりん」「さるがくる」大畑俊正3・4年 (複)「一つの花」岡利道昭和61年度複式指導単元配当一覧表。
274	A	0	2	1986 昭和60・61年度文部省指定教育課程 (国語) 研究紀要	益田市立益田小学校	研究主題「確かで豊かな文章表現力を養うための段階的な作文指導の工夫」。
275	A	0	4	1986 第30回島根国語懇話会夏期研究集会 資料一揃 (袋)	島根国語懇話会	研究主題「いきいきとした国語学習室の創造—語い指導の実践—」。授業指導案、発表資料等が含まれている。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
276	B	4	4	1986 いずみ 第3号	平田市立久多美小学校 六年一組	1年を通しての作文活動や国語科学習の記録。
277	C	0	8	1986 個人文集 □□の本 第二集 第六学年「わたしの島根」	平田市立 久多美小学校	「わたしの島根」と題する単元学習の手引き・ワークシート集。
278	C	0	8	1986 こじん文集 □□の本 第二集 第三学年 わたしのクラス	平田市立 久多美小学校	「わたしのクラス」と題する単元学習の手引き・ワークシート集。
279	C	0	8	1986 こじん文しゅう □□の本 だい二しゅう だい二学年 わたしのかぞく	平田市立 久多美小学校	「わたしのかぞく」と題する単元学習の手引き・ワークシート集。
280	C	0	8	1986 個人文集 □□の本 第二集 第五学年 わたしの平田	平田市立 久多美小学校	「わたしの平田」と題する単元学習の手引き・ワークシート集。
281	A	0	0	1987 島根大学教育学部附属小学校 第35回研究発表協議会 資料一揃 (袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語主題「子どもが読みをつくる授業—自ら求めて読み進めていく子ども—」。指導案、3・4年(複)「ありの行列」岡利道、2年「スイミー」大畑俊正、5・6年「どろんこ祭り」黒崎淑子、4年「漢字」原一夫5年「作文」恩田元穂。
282	A	0	0	1987 島根大学教育学部附属小学校 第19回複式教育を語る会 資料一揃 (袋)	島根大学教育学部 附属小学校	研究主題「異学年がともに生きる学習」。国語指導案、3・4年「成長のアルバムをつくろう」岡利道。他昭和62年度複式指導単元配当一覧表、等。
283	A	0	0	1987 昭和62年度 集録 一人ひとりに とりに応じた指導の工夫	松江市教育研究会 小学校国語部会	
284	A	0	0	1987 島根県教育研究会 会報 第38号	島根県教育研究会	小学校・中学校教育課程研究集会 全国共通問題を掲載。
285	A	0	0	1987 吉松国語教室を語る	島根国語懇話会	
286	A	1	0	1987 第31回島根国語懇話会夏期 合宿研究会開催要項	島根国語懇話会	
287	A	2	0	1987 昭和62年度 中学校国語科 教育講座 講義資料	田中整一	詩の教材化についての講義資料。
288	A	2	0	1987 教材研究資料	島根県立教育センター 中学校国語科教育講座参加者	教材化研究の演習として作成された資料。
289	B	0	0	1987 合宿訓練すべて見せます'87	平田市立久多美小学校 5年1組	指導、同校教諭(担任)生馬明子。
290	B	4	0	1987 湖南 (松江市立湖南中学校文集)	松江市立 湖南中学校	12号(昭和62年)、13号(昭和63年)、14号(平成元年)の3冊。
291	A	0	1	1987 教材研究会の記録「名前を見て ちょうだい」(2年)「大造じいさんと がん」(5年)	安来市能義郡教育研究会 小学校国語部会	「読みを深めるためのイメージ化の指導」「ことばを手がかりにしたイメージ化の指導はどうしたらよいか—物語・童話教材を通して—」をテーマとして史料名にある二教材について分析したもの。
292	A	2	1	1987 昭和62年度 中学校国語科 教育講座 講義資料	田辺福夫	教材文研究と教材化研究についての講義資料
293	A	2	1	1987 松江市教育研究会国語部会夏 期研修会 資料一揃 (袋)	松江市教育研究会 国語部会	「おちば」「注文の多い料理店」の授業研究資料を含む。
294	A	3	1	1987 「はるかぜのたいこ」授業実 践記録	大畑俊正	研究授業の全記録
295	B	4	1	1987 かんそう文しゅう はるかぜ のたいこ	大畑俊正	

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備 考
296	A	2	6	987 読解指導 古典(古文)教材の扱い方	広沢将城	島根県立教育センター・中学校国語科教育講座における講義資料。
297	C	0	6	987 古典への招待・単元プリント	永島典男	ワークシート(ブック)集。
298	A	0	0	988 島根大学教育学部附属小学校 1988年度研究紀要	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが読みをつくる授業——一人ひとりの見通しをどう育てるか」。事例1「友だちとかわかって自分の読みをふくらませていく子ども——2年『スーホの白い馬』」大畑俊正、2「より良い聞き合いを求めて——3・4年(複)『見つけたよカードを作ろう』」岡利道、3「自分の読みを見直しながら読み深めを進める子ども——5年『わらくつの中の神様』」恩田元穂。
299	A	0	0	988 自ら学ぶ力を育てる学習指導	島根大学教育学部 附属中学校・北尾 倫彦監修	
300	A	0	0	988 島根大学教育学部附属小学校 第20回複式教育を語る会 資料—揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	研究主題「一人学び・グループ学びのできる子ども」。国語指導案、1・2年「どうぶつの赤ちゃん」赤木直行、3・4年「4コママンガを使って」岡利道、5・6年「食物保存の工夫」黒崎淑子。他、複式指導単元配当一覧表、授業資料等。
301	A	1	0	988 第16回中国地区国語教育研究大会出雲大会(第22回島根県国語教育研究大会)要項	中国国研事務局	
302	A	3	0	988 島根大学教育学部附属小学校 第36回研究発表協議会 指導案集	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが読みをつくる授業——一人ひとりの見通しをどう育てるか」。国語指導案、3年「楽しみながら書こう(花の本づくり)」大畑俊正、3年「(書写)筆づかいのひみつは?(はらい)」大畑俊正、3・4年(複)「登場人物に近づいて読もう『ごんぎつね』」岡利道、6年「課題をもって深めよう『石うすの歌』」恩田元穂。
303	B	4	0	988 国語学習記録 はもん 1号	平田市立久多美小学校 五年一組	指導、同校教諭(担任)生馬明子。
304	A	2	1	988 読みを深めるために学習過程の中で書く活動をどう生かすか	古瀬美幸	第16回中国地区国語教育研究大会(出雲市)、古典分科会発表資料。
305	A	3	1	988 授業資料 「故郷」	松尾繁弥	第16回中国地区国語教育研究大会(出雲市)における公開授業のための指導案と資料。
306	A	3	1	988 授業資料 「法隆寺を支えた木」	水谷美由紀	第16回中国地区国語教育研究大会(出雲市)における公開授業のための資料(座席表、ワークシート)。
307	B	4	1	988 ふりかえり感想文集 スーホの白い馬	島根大学教育学部 附属小学校2年1組	指導、同校教諭(担任)大畑俊正。
308	A	3	2	988 指導案「心にのこったことを一具体的に書く」(中1)	山本弘子	第16回中国地区国語教育研究大会(出雲市)における公開授業のための指導案と資料。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
309	B	4	2	1988 昭和63年度 修学旅行のし おり	平田市立久多美小 学校6年1組	修学旅行に行くために事前に調べた ことを文集形式にまとめたもの。
310	B	4	2	1988 詩集 青空 第4集	島根大学教育学部 附属小学校2年1 組	指導、同校教諭(担任)大畑俊正。
311	A	0	3	1988 島根大学教育学部附属中学校 第31回中学校教育研究発表 協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属中学校	主題 「自ら学ぶ力を育てる学習指 導—授業改善による自己教育力の育 成—」 国語指導案 2年「対話を 豊かに」川津啓義、3年「生きる (自分を考える)」寺本学 分科会 資料「聞く力の育成を目指した学習 指導」永島典男 他、授業資料等。 第16回中国地区国語教育研究大会 (出雲市)における公開授業のため の指導案と資料。
312	A	3	4	1988 指導案「日本語の特色」 (中3)	石田誠	
313	A	0	0	1989 豊田富士紀先生ご退職記念 いきいきとした国語学習室の 創造 小研究会	島根国語懇話会	
314	A	0	0	1989 平成元年度 島根国語懇話会 会員名簿	島根国語懇話会	
315	A	0	0	1989 島根大学教育学部附属小学校 第37回研究発表協議会指導 案集	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』を つくる授業—一人ひとりの考えを生 かして—」。国語指導案、1年「大 きなかぶ」岡利道、4年「作文」大 畑俊正、4年「説明文」恩田元穂、 4年「書写」大畑俊正。
316	A	1	0	1989 第28回松江市教育研究大会 (開催要項)	松江市教育研究会 第三ブロック	国語発表要項 朝日小「書く生活を 開き、書く力を育てる—基礎的的基本 的事項をおさえて—」津田小「豊か で確かな読みのできる子どもを求め て—説明的文章の指導を通して—」
317	A	3	0	1989 島根大学教育学部附属小学校 第37回研究発表協議会 指 導案集	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』を つくる授業—一人ひとりの考えを生 かして—」。国語指導案、1年「楽 しい読み方を見つけよう『おおきな かぶ』」岡利道、4年「書きたい材 料を集めて(〇〇をしようかいし よう)」大畑俊正、4年「段落のつ ながりを見つけよう『カプトガニ』 『キョウリュウの話』」恩田元穂、 4年「(書写)画はどんな方向に? 『家』」大畑俊正。
318	B	4	1	1989 分析批評で読む—大造じいさ んの執念と残雪のたくましさ を学んだ私達—	昭和63年度島根 町立加賀小学校5 年	指導、同校教諭(担任)橋本祐治。
319	B	4	2	1989 詩集 雪だるま 第1集	島根大学教育学部 附属小学校3年1 組	指導、同校教諭(担任)大畑俊正。
320	A	3	3	1989 指導案「学級のくらしを見直 す私の意見」(小4)	清水恵美子	第33回島根国語懇話会夏期研究集 会(平田市)における公開授業。
321	B	4	8	1989 人体のふしぎ新聞集—単元 「人ってなあに」の「人とか らだ」から—	永島典男	

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
322	A	0	0	990 大会報告・研究紀要 平成元年度	島根県教育研究会 島根県立松江教育 センター	
323	A	0	0	990 島根大学教育学部附属小学校 第38回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』を つくる授業—子どもの『読み』の方 向と学び方をさぐる—」。国語指導 案、2年「王さま出かけましょう」 岡利道、3年「ありの行列」瀧哲朗 5年「誌の美しさが友だちに伝わる ように読もう」恩田元穂。他、授業 資料等。
324	A	2	0	990 松江市教研国語部夏期研修会 参加者名簿	松江市教育研究会 国語部事務局	
325	A	3	0	990 第33回中学校教育研究発表 協議会学習指導案	島根大学教育学部 附属中学校	
326	A	2	1	990 一人ひとりに応じた指導の工 夫をめざして	福田郁子	松江市教研国語部夏期研修会(まが たま会館)における、「春先のひよ う」を教材とする実践報告。
327	A	2	1	990 ひとりひとりの豊かな読み取 りの力を育てる指導の工夫— 文学的教材を通して—	長尾俊江	松江市教研国語部夏期研修会(まが たま会館)における「ごんぎつね」 を教材とする実践報告と指導案。
328	A	2	2	990 書くことをえらんで—えらべ る目をそだてるために—	狩野知久美	松江市教研国語部夏期研修会(まが たま会館)における、小学校2年生 対象の作文指導の実践報告。
329	A	0	4	990 島根大学教育学部附属小学校 第21回複式教育を語る会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語指導案、5・6年「言葉の感じ 黒崎淑子。他、複式指導単元配当一 覧表等。
330	A	2	8	990 第33回中学校教育研究発表 協議会 三年国語 授業資料	佐藤安治	単元名「いろいろな見方を取り入れ て」の公開授業資料。
331	A	0	0	991 島根大学教育学部附属小学校 第22回複式教育を語る会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	主題「ひとり学びのできる子ども」 国語指導案、1・2年「いろいろな ことばがあるんだね—「ものの名ま え」「はんたいのことば」—」昌子 佳広。他、授業資料、複式指導単元 配当一覧表等。
332	A	0	0	991 島根大学教育学部附属小学校 第39回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』を つくる授業—学び方にかかわる場 の具体的な設定」。国語指導案、5年 「俳句に挑戦!」岡利道、4年「キ ョウリュウの話」瀧哲朗、1・2年 (複)「大きなかぶ」昌子佳広。他 授業資料等。
333	A	2	1	991 国語科における理解領域の指 導—「ひとり読み」を取り入 れた実践を通して—	玉木敦子	第23回島根県国語教育研究大会 (八束郡)、小学校理解分科会発表 資料。
334	A	2	1	991 豊かな心を育み、高め合う子 どもづくり—文学教材の読み の指導を通して—	津森整治 他	第23回島根県国語教育研究大会 (八束郡)、小学校理解分科会発表 資料。
335	B	4	2	991 ハーモニー 二の一句集	島根大学教育学部 附属小学校2年1 組	指導、同校教諭(担任)岡利道。
336	B	4	2	991 ねんぶこ 第35号 高学年	大田・瀬摩学校教 育研究会 小学校国語部会	大田市・瀬摩郡内の各小学校から全 児童の作品を掲載する。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
337	A	0	8	991 第35回 島根国語懇話会夏 期研究集会 資料一揃(袋)	島根国語懇話会	主題「いきいきとした国語学習室の 創造一話しことばによる通じ合いの 指導」。指導案、小3「ことばあ てゲーム」石田佳美(津田小)、 小6「『使い捨て』について考えよ う」松尾順子(津田小)、中2「エ ピソード文集を作る一修学旅行今と 昔」佐藤文宣(附属中)。他、発 表資料等。
338	A	0	0	992 島根大学教育学部附属小学校 第40回研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』を つくる授業—一人ひとりが『読み』 を深めていく過程で 教師がどう支 えるか—」。国語指導案、1・2年 (複)「おはなしづくり」昌子佳広 4年「キョウリュウをさぐる」瀧哲 朗、6年「ヒロシマのうた」岡利道
339	A	2	0	992 子どもを見る目を変えた「学 級通信」への取り組み	橋本祐治	第10回島根大学教育学部国文学会 研究発表会における発表資料。
340	A	2	2	992 中学生の俳句作り(大東町立 久野中学校での実践)	須谷晶子	第10回島根大学教育学部国文学会 研究発表会における発表資料。
341	A	2	2	992 私の文集作り	大畑俊正	第10回島根大学教育学部国文学会 研究発表会における発表資料。
342	B	4	2	992 一枚の写真 「400メート ルのドラマ」	島根大学教育学部 附属小学校4年2 組	1枚の写真を見て「400メート ルのドラマ」と題する作文を書く活動 を行い、できた作文を文集にまとめ たもの。指導は同校教諭(担任)瀧 哲朗。
343	A	0	0	993 田辺福夫先生ご退職記念小研 究会 いきいきとした国語学 習室の創造一話しことばによ る通じ合いの指導—	島根国語懇話会	
344	A	0	0	993 島根大学教育学部附属小学校 1993年度研究紀要	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』を つくる授業—思いを『ことば』で表 現するために—」。事例1「ものの 見方を多様に広げ、豊かに表現して いく子ども—1・2年(複)『あつ まれ、楽器』(説明文)—」昌子佳 広、事例2「言葉を見つめ直す子ど も—4年『言葉について考えよう～ 方言と共通語～』瀧哲朗、事例3「 登場人物の生き方を深く見つめる子 ども—6年『ヒロシマのうた』—」 岡利道。
345	A	3	0	993 島根大学教育学部附属小学校 第41回研究発表協議会 指 導案集	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』を つくる授業—思いを『ことば』で表 現するために—」。国語指導案、1 年「たのしく読もう『おひすびこ ろりん』」瀧哲朗、1・2年(複) 「ことばを感じとろう『おおきなか ぶ』」昌子佳広、4年「私にとって の『一つの花』」岡利道。
346	A	2	1	993 国語教育における読者論の受 容	湯浅哲司	第30回表現学会全国大会(島根女 子短期大学)自由研究発表資料。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
347	A	2	2	1993 児童の日記に見られる述べ方について—N. W. 児の一年生時の日記に見られる冒頭部分の表現に注視して	岡利道	第30回表現学会全国大会(島根女子短期大学)自由研究発表資料。
348	A	0	0	1994 島根大学教育学部附属中学校第36回中学校教育研究発表協議会 資料一揃(袋)	島根大学教育学部 附属中学校	主題 「『自ら学ぶ力』が育つ学習指導—よりよく生きようとする生徒の育成—」 国語指導案 1年「気になることば」佐藤安治、3年(選択)「朗読・郡読をしよう」寺本学他、分科会資料、授業資料等。
349	A	0	0	1994 島根大学教育学部附属小学校1994年度研究紀要	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』をつくる授業—思いを『ことば』で表現するために—」。事例1「挿し絵から『ことば』を広げていく子ども—1年『おむすびころりん』—」瀧哲朗、事例2「くらしをふりかえりながら『ことば』についての思いを表現する子ども—1・2年(複)『ぼくたち・わたしたちの“ことばずかん”をつくろう』—」昌子佳広、事例3「一人学習の深まりと対書—4年『一つの花』」岡利道。
350	A	3	0	1994 島根大学教育学部附属小学校第42回研究発表協議会 活動案集	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』をつくる授業—一人ひとりの表現を価値あるものにするために—」。国語活動案、2年「どんなじゅんじょで—『たんぼぼのちえ』—」瀧哲朗、3年「かすりの着物の男の子って…—『つり橋わたれ』—」岡利道、3・4年(複)「松井さんの見たものは?—『白いぼうし』ほか—」昌子佳広。
351	A	0	0	1995 島根大学教育学部附属小学校1995年度研究紀要	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「子どもが『読み』をつくる授業—一人ひとりの表現を価値あるものにするために—」。事例1「読み取ったことを再構成し、表現していく子ども—2年『たんぼぼのちえ』—」瀧哲朗、事例2「『かわっていくこと』をとらえ、意欲的に書く子ども—4年説明文『シャボン玉の色がわり』を起点に—」岡利道、事例3「自分なりの問題意識に沿って追求を深める子ども—3・4年(複)『方言と共通語』(言語事項)—」昌子佳広。

史料 番号	種類	領域	作成年	史料名	作成者・ 機関等名	備考
352	A	3	0	995 島根大学教育学部附属小学校 第43回研究発表協議会活 動案集	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「表現の価値を追求す る国語科学習—言葉の自覚化を図る 活動や支援のあり方をさぐる—」。 活動案、1年「かけえをつかってス リーヒントクイズをつくろう—なぞ なぞあそび—」瀧哲朗、3年「3の 2生き物ブックを作ろう—『ヤドカ リの引っこし』（説明文）を起点に —」金山剛志、3・4年（複）「言 葉でアピールしよう—ぼくの・わた しの〇〇発表会（聞く・話す）—」 昌子佳広。
353	B	4	1	995 ちいちゃんのかげおくり 想文集	島根大学教育学部 附属小学校 平成 七年度わかば学級	指導、同校教諭（担任）昌子佳広。
354	A	0	0	996 島根国語懇話会 四十年の足 跡	島根国語懇話会事 務局	島根国語懇話会研修会の第1回より 40回までの開催年度、会場校、研 究主題、会長・事務局長名を表にま とめたもの。B4版プリント。
355	A	0	0	996 島根大学教育学部附属小学校 第44回研究発表協議会 資料一揃（袋）	島根大学教育学部 附属小学校	国語研究主題「表現の価値を追求す る国語科学習—言葉の再自覚化を図 る活動のあり方をさぐる—」。国語 指導案、2年「スイミー」瀧哲朗、 4年「作文」金山剛志。他、授業資 料（座席表他）等。
356	B	4	2	996 平成8年度 大山林間学校の 思い出	島根大学教育学部 附属小学校4年2 組	指導 同校教諭、金山剛志（担任）
357	A	0	0	抜粋論文「3年ウ、書こうと することをよく見て書くこと （観察したこと）」	柳浦直久	『小学校新指導要領への指導例2 国語科編 2 作文指導とことばの きまり指導』（井上敏夫編、明治図 書）所収論文。
358	C	5	0	短歌について知りたいこと 作文 私たちの未来	藤原悠	「短歌について～」生徒の疑問点を まとめたもの。「作文 私たち～」 生徒全員の要点をまとめたもの。
359	C	5	0	松原読本	浜田町松原尋常高 等小学校	郷土読本。巻1、3、6、7、8の 5冊の他、1冊（内容からすると中 学年向き）。
360	A	2	1	興味をもって人物の行動や信 条をとらえるにはどうすれば よいか	小池美佐子	
361	A	2	2	低学年において作文する力を 調和的に育てるにはどのよう にしたらよいか	小池美佐子	
362	A	0	4	隠岐島後における方言および 敬語の諸問題	増本敬郎	隠岐島後での教育上の共通語の扱い 問題点についてまとめた報告資料。
363	C	0	4	豊かな語い力をつけるための 調査・研究 —教科書に用い られる修飾語—	大畑俊正	東京書籍3年の教科書に用いられた 修飾語の抜き書き。
364	A	0	8	能力に応ずる学習指導 科	国語 島根大学教育学部 附属中学校	全30頁の冊子。昭和20年代後半 のものと思われる。「単元の目標と 資料」「国語科能力表」「単元の展 開例」等から成る。

解 説

I 総 説

まず、以下の2表から史料全体の傾向を概観しておくこととする。

表 I 史料作成（発表）年代別件数

作 成 年 代	数
昭和元（1926）年以前【明治期のみ】	4
昭和20（1945）年以前【昭和戦前期】	16
昭和20（1945）年 ～ 昭和25（1950）年	0
同 26（1951）年 ～ 同 32（1957）年	36
同 33（1958）年 ～ 同 42（1967）年	49
同 43（1968）年 ～ 同 51（1976）年	69
同 52（1977）年 ～ 同 63（1988）年	138
平成元（1989）年 ～ 平成 8（1996）年	44
作 成 年 不 明	8
合 計	364

表 II 領域・種類別件数

領 域 \ 種 類	A	B	C	合計
0) 総 記	118	3	6	127
1) 理解（読むこと・読解）	64	7	0	71
2) 表現（書くこと・作文）	47	52	0	99
3) 音声（聞くこと・話すこと）	7	0	0	7
4) 言語事項	14	2	2	18
5) 書写・書道	5	0	0	5
6) 古 典	2	0	1	3
7) 読 書	18	0	0	18
8) 単元学習	7	1	8	16
合 計	282	65	17	364

表 I の年代区分は、戦後については学習指導要領の改訂年を基準として区分した。但し、昭和22年試案については、その前後に該当する史料がないため基準として設けていない。なお、昭和26年の指導要領改訂年以後は各年最低一編は史料が存在する。

表 II の「種類」の項は上位類別基準である ABC の区分によって件数を示すに止めた。複数

の史料が一括されているため領域を明確に区分し得ないものも多く、したがって「0」領域が最も多くなっている。

II 領域別解説

以下、各領域ごとに解説を加える。文中、史料名は『 』に示し、史料番号を〈 〉内に示す。

0) 総記

ここに配したものは、理解(1)、表現(2)、音声言語(3)などの指導領域を特定し得なかった史料である。

具体的には、まず、各種教育研究団体が開催した研究会の資料を一括したものがあり、ひろく国語教育全般にわたっての研究資料や、複数の指導領域にわたる指導案などが収められている。島根大学教育学部附属小学校（以下、島大附小）、同附属中学校（以下、島大附中）が戦後以来行ってきた研究発表協議会の資料（研究紀要、指導案集、授業研究資料などを収める）も、国語科において特に指導領域を限定しない場合が多く、ここに含まれる。同様に、県内の私設国語教育研究団体として長い伝統をもつ島根国語懇話会主催の合宿研究集会資料その他も含まれる。

島根県教育委員会、島根県立教育センターの作成する『大会報告・研究紀要』と称する冊子〈238,272,322〉は、当該年度の県内における各教科研究の動向をまとめたものであり、本史料群には上記の3冊しか含まれないが、県教委、ならびに教育センターにおいては全号を保管しており、県内の教育研究動向を継時的にとらえていくには有効な資料となるだろう。

戦後最初の学習指導要領である昭和22年学習指導要領試案の作成からその後の昭和26年版学習指導要領の作成にかけての前後にあたる時期の史料には、当時の国語教育の動向を見る上で貴重なものがある。当時、文部省の作成する学習指導要領は法的拘束力をもたず、むしろ文部省は、各地方教育委員会において各々が教育課程編製の規準とすべき資料を作成することを妨げるものではないという立場であったことが知られ、そのため〈26,27,29〉などに見る本県独自の教育課程表、能力表などが作成されていた。また県の指定等によって学校単独で研究に取り組み、その成果を発表する資料として作成された『本校の国語教育』（松原小学校）〈21〉、『国語科研究発表要項』（長浜小学校）〈28〉、『教育経営 昭和28年度』（三刀屋中学校）〈31〉などがある。松原小学校の資料は、その作成年は既に県の指定研究年度を終えている年にあたるが、なお独自に継続研究を進めており、その経過を報告するものであって、当時試みられた「単元学習」についての研究も深めており、具体的な年間指導計画等を発表している。戦後間もない、まだ新教育の方向性が十分に定まらない時期の本県における国語科教育研究の動向をこれらから窺い知ることができるだろう。

久多美小学校の『合宿訓練すべて見せます'87』〈289〉『はもん』〈303〉は、いずれも同校の生馬明子による指導実践から生まれた文集である。意欲を持たせ、成就感を味わわせていく中で文章表現力を高めていくことをめざして、学習材が開発されている。個人作業中心であるが、児童が自分で取材し書くという主体的な学習となっており、総合的な学習の成果

としてとらえることができる。同様に、『湖南』〈290〉も単なる表現の学習としてだけでなく、総合的な学習の成果としての文集となっており、ここに配した。

昭和10年前後にさかんに作成された、いわゆる「郷土読本」もここに配した。本史料には、松江・簸川・浜田のものの一部がある。「はしがき」等に郷土読本作成の意図が述べられ、当時の郷土教育の情熱を受け取ることができる。簸川郡の『阿宮郷土讀本』〈10〉では、「郷土の自然、郷土の文化に生きた實例を求め、郷土愛に燃ゆる兒童の欲求を満足せしめんがため」に作成されたことが述べられ、『松原讀本』〈359〉では、「郷土的色彩を加味せる一種の國語補充讀本」としての役割を果たすものと述べられている。

安来市立図書館の『教科書目録（昭和57年9月現在）』〈220〉は、「A寺小屋教育之部 B義務教育之部 C中等教育之部 D帳面其ノ他」に分かれており、国語教科書が最も豊富である。

1) 理解（読むこと・読解）

「理解」に分類した史料は昭和26（1951）年から平成7（1995）年にわたっている。この44年間の実践動向は、大まかに言えば、学習指導要領の読むこと（理解）の変遷に連動している。

昭和20年代の学習指導要領は22年版26年版ともに経験主義の国語教育であった。『昭和26年度中国地区 中等教育研究集会 参加手引』〈23〉にみられる指導案は、文学作品を教材にしながらも、その指導目標は読むことだけでなく、聞く話すも含まれていることからみて言語活動重視の傾向がうかがわれる。また、学習指導要領においては、軽視された「文学教育」について、中央と時を同じくして、高橋（岡）正が文学教育の定位を試みる論考〈22〉を発表している。

昭和30年代になり、経験主義にかわって、系統性を重んじた昭和33年版の学習指導要領となる。出雲市立教育研究所は同年『学力を高めるための問題点とその対策—国語学習における読解力の問題について—』〈58〉の報告書を公にしている。ここに「読解」という用語が登場している。昭和30年代は「読解指導」の時代といってよい。特に、説明的文章においては文章論的な読解指導が行われた。岡正の「魚の回遊」の実践〈62〉はその典型と言えるであろう。また、物語文においては、小池美佐子実践〈87他〉に代表されるような読解指導を基礎とした鑑賞指導がさかんにおこなわれていた。

昭和43年版の指導要領は、読書指導重視が特徴とされるが、ここでも読書を成り立たせる技能としての読解という考えがあり、今日的には読解指導或いは鑑賞指導ととれるものもあった（『指導案「2ひきのリュウ」』〈112〉）。この時期、島大附小、島大附中の国語科も読解指導のテーマをかかえて研究をすすめている。例えば、島大附小国語科では「子どもの意識を主軸とする読解過程」（昭和45年）〈121〉、島大附中国語科では「文章の要約と読むことの指導」（昭和47年）〈142〉などがある。

昭和52年版では、言語の教育としての国語科の立場が鮮明になると同時に、領域の言語能力的立場からの再編成があり、理解・表現・言語事項という2領域1事項の時代となる。これ以降、「理解」力をつけるための指導が主流となる。永見弘の指導案、単元「楽しく読もう」（昭和52年）〈179〉の中の文言「国語の授業—国語科本来のねらいは、ことばで考え、ことばで

伝え、ことばで作り、ことばを考えることであるといわれている。／本時の授業もことばに注視させようと思った。」が、よくこの時期を象徴していると言えよう。

この時期以降の史料で特徴的なのは、島根県国語教育研究大会（以下、島国研大会）の史料が増えることである。そして、さらに、そうした史料（実践）は、学習指導要領の内容との整合性を求めるものが多い。目標の系統性を、指導要領の内容に求め、実践をしている。理解領域の分科会発表や授業公開といったものの資料であるので、当然かもしれないが、昭和30年代、40年代のもの比べると教師の主体性という点で少し型にはまった感じがする。

一方、この時期の実践のテーマをみると、50年代から60年代では「確かで豊かな読み」のように「確かさ」と「豊かさ」の両面を追求するものが多く、平成に入るとその内の「豊かさ」の追求に重みに移り、読みの主体である子ども「一人ひとり」を大切にしようとする姿勢が多くみられるようになる。その中で個性的なものとしては第21回島国研大会の園山哲男実践〈243〉と第23回島国研大会の宍道小（発表代表者津森整治）実践〈334〉とがあげられる。園山実践は国語科では珍しい問題解決学習を意図したものであり、宍道小実践は民間教育団体の成果である一読総合法を取り入れたものである。また、島国研大会ではないが、分析批評の読みを取り入れた橋本祐治実践〈318〉もある。

平成5年の湯浅哲司論文〈346〉で読者論が登場する。読者論は、従来の読解指導に質的転換を迫るもので、今後、この読者論的な読みを取り入れた実践の登場が予想される。

2) 表現（書くこと・作文）

昭和20年代から30年代はじめにかけての作文指導についての研究資料は少ないが、『赤ペン』〈56,161〉や『作文教育入門—八東版—』〈67〉など八東作文の会の活動を中心に当時の指導の傾向を見ることができる。又、『やつか』〈47〉や『あゆみ』〈40,41〉など、30年代に発行された幾つかの文集は、生活綴り方の立場を取っている。テーマごとにまとめるものが多いが、中でも労働や友情、毎日の生活についてなど、子どもの生活に沿い、正直な心で書いた題材が多く見られ、例えば『やつか』の評に見られる「自己を見つめることは生活態度の根本になる大切なことだ」といった言葉に表れるように、生活を綴ることが生活指導へも直接結びつけられるような指導が意図がされていた。昭和26年の学習指導要領で作文として国語科の中に位置づけられたことに対して、より広い意義を綴り方として認めていた様子がうかがえる。

30年代後半から40年代については、曾田寛氏から多くの資料提供を受けた。それらを含め、この時期の作文指導には昭和33年に告示、36～37年にかけて実施に移された学習指導要領の影響がみてとれる。この学習指導要領の特色は「系統化」「能力育成」にあり、この活動主義から能力主義へとも言うべき流れは43年、52年の学習指導要領にも受け継がれていく。特に43年の改訂では時間数の上からも作文指導の比重は大きくなり、この流れを受けて作文指導においても、「書くこと」によって全体の話の仕組みを理解したり、仕組みを考えて表現できるという「能力」の育成に重点が置かれていく。この特徴をよく表したものの一つに論作文と題された一クラス分の資料があり〈93〉、評価も含め、特に文章の構成に目を向けた指導が行われている。授業で扱った文章が具体的にわからないのが残念であるが、当時の作文指導の実際を知るのに適切な資料である。又、『あきば』〈72〉や『うえい』〈113〉などの文集に添えられた

批評などにも同じような観点が見られ、作文の参考書としての文集があったことがわかる。他に作文能力の向上を「スキルトレーニング」によってめざした実践記録〈89〉などがこの期の特徴を表している。

50年代に入ってから52年の学習指導要領に先駆けて、『読むことと書くことをつなぐを求めて—実践記録—』〈162〉や『読解学習と集団思考を生かした作文指導の試み』〈163〉など読解指導と結びついた作文指導が特徴として出てくる。それらでは文章の構成や表現を学ぶだけでなく、登場人物への手紙を書いたりインタビューをしたりといった、読解と結びついた多様な表現活動が行われるようになった。一方でこれらの活動も含め、学習者が考えやものの見方などを「楽しんで」表現することにも目が向けられるようになってくる。

昭和60年代から現在にかけては学習指導要領が「社会の変化に主体的に対応できる人間」の育成を掲げたことで、研究題目にも個々を認め、多様な発想を生かそうとするように「学習の個別化」「生きた言葉」といった言葉が目立つようになる。子ども一人ひとりの違った「興味や関心」「生活経験」を認め、一人ひとりのもつ良さや考え方を伸ばしていく指導が増えてくるが、中でも『生活を見つめ、書く力を育てる指導—学級文集作りを通して—』〈250〉『表現力を高める効果的な指導はどうしたら良いか—文集「のぎ」の実践を通して—』〈251〉など学級文集を使ったものが目立つ。これらの文集の特徴は文集に載せる作品の種類の多様化とともに、『自分なりの考えを書く短作文指導』〈252〉に表れるような、短くとも目的や必要に応じて作文を書く力の育成を図ることにあるようである。

3) 音声（聞くこと・話すこと）

音声言語教育に関わる史料数は、7編とたいへん少なく、研究としての取り組みが十分なされていなかったと考えられる。

昭和30年代の史料として『話しことば（方言しらべから）』〈75〉がある。この実践の「方言そのものをなおすことでなく、話させる」というねらいは、「方言音矯正や標準語指導」ではなく、方言のよさを生かしながら、聞き手にわかりやすく話すことを求めている。

昭和40年代の史料の中で、『話しことばにおける文意識の育成』〈83〉は、当時、「話すこと」の研究は遅れているという認識のもとに取り組んでいる。波根小学校の6か年（昭和45年～50年）の継続研究をまとめた『きくことの教育』〈150,151〉は、音声言語教育の低迷期にもかかわらず、意欲的な実践研究がなされている。波根小学校の実践は、「全国大学国語教育学会」（昭和49年）の研究発表で取り上げられ、全国の国語教育実践者にも注目されている。

昭和60年代の史料として、島大附中の実践がある。平成元年度版学習指導要領が音声言語教育の重視をうち出す前から「聞く力が育つ学習指導」の研究をはじめ、本史料〈311〉は「主体的な聞き手の育成」というねらいのもと、「聞くこと」は聞き手の主体的行為である、ということ意識した取り組みとなっている。

4) 言語事項

言語事項は、主に「文法」「語句・語彙」「漢字」「言語の特質」に関する事項である。この事項は読解力や表現力などを児童、生徒が身に付けるための基礎となるもので、実際の言語活

動に活用できることが大切となる。

史料の「語句」「漢字」の事項に関するものは、『言語の指導—語句指導の定着をはかるための一試案—』〈205〉などがあり、まず語句の意味を知りそれを活用できるようにする取り組みが見られる。語句の意味を知らないため文章を読み取る事ができない、語句の不足から文章が書けないという実情があるようである。そして、児童、生徒が「言語」そのものに興味を持つことに留意点を置いた『指導案「漢字の音訓と漢語の組み立て」』〈207〉『指導案「日本語の特色」』〈312〉などの活動が見られる。さらに、『自力で読みとる力をつけるために—難語句解決に着目して—』〈206〉では「語句」に興味を持ち自分で調べるという自発的な語句との関わり方を指導している。

「文法」事項の学習ではそれまでの言語活動を見直し、誤った言語活動を正す『「ことばのきまり」指導の系統と計画』〈76〉〈96〉『国語科補習授業計画』〈66〉などの活動がある。特に、敬語の活用についての誤った言語活動が見られるようであり、敬語の使用を見直す文法学習が多く見られる。敬語については『隠岐島後における方言および敬語の問題』〈362〉で、共通語から見た方言の誤り、問題点について指摘されている。しかし、共通語と地方の特色が表れた方言をどのように扱うべきか、その扱い方について触れている史料は見られない。

5) 書写・書道

本史料に含まれる5編は、いずれも昭和52年の学習指導要領改訂より以後のものである。入門期にあたる小学校低学年の指導について2編『基礎力をつけるための硬筆指導のあり方—主として低学年初期における指導のあり方—』〈185〉『小学校入門期におけるひらがな指導のあり方—意欲をもって取り組む子—その1、その2』〈209〉があり、主に文字を書く時の姿勢や筆順についての指導が見られる。『書く喜びと基礎的技能を高める書写指導の試み—授業と全校的なとりくみの関連の中で』〈266〉では「書くこと」そのものに興味を持つよう考慮された「漢字相撲」などの取り組みが見られる。

6) 古 典

古典についての史料は3編のみである。古典に本格的に触れるのは高等学校においてであり中学校では軽く触れる程度である。小学校ではほとんど触れない。古典の大きな問題点として語句の意味、文法の説明に気を取られるあまり訓詁注釈的な授業が展開されやすいことが挙げられ、『読解指導 古典(古文)教材の扱い方』〈296〉では、古典教材におけるつまづき、文法に振り回されない指導法についての取り組みが見られる。『古典への招待・単元プリント』〈297〉では作品に関する事柄を台本にし、生徒自身が台本に書き込み、演じることで作品を理解していくワークブックを利用した活動がある。また、S-D法による作品の主人公の意味把握の分析が島大附中の『第20回研究発表協議会 資料一揃』〈127〉の中で行なわれている。これは原文と現代語訳で作品の意味把握にどれぐらい差が出るかを調査したもので、これを応用した方法で原文のどこでつまづくかなどの調査もできると考えられ、斬新な研究である。

7) 読 書

本史料では、「読解指導の中に読書指導を入れていく」、いわゆる読解指導の発展としての読書として扱われているものが数多く見られる。その中で、昭和45年に川本町で行われた実践〈128,129,130,131〉の中に、「読書指導で通す」内容となっているものがある。当時の「国語科における読解指導」の受けとめ方は、「読む」という行為をもっと生活的、読書的発想でとらえ、「読解」にかたよった読みを一度読書の方に振りもどすことで、新しい「読解」にかえていくと考えている。そこで自由読書に重点を置こうとしている。昭和40年代の国語教育界で読書指導が大いに論議され、島根でも国語教育界をリードした実践者たちが、当時の重要な課題に取り組んでいる意欲がうかがえる。

『国語科における読書指導に関する研究』〈143,147〉も、昭和40年代後半、2か年にわたり取り組まれたものである。国語科読書指導のあり方について研究し、具体的な授業の考察を通して、読書指導改善のための問題点の摘出と実践のための資料を提供している。

図書館教育としての読書指導として取り組んでいる史料が3編ある。その中で、昭和25年から5年間かけて施設を整え、「学習に直結する学校図書館の経営」に取り組んだ玉湯小学校の実践〈54〉は、昭和20年代の学校図書館・読書指導についての考え方を知る上で貴重な史料となるであろう。

8) 単元学習

年代的には、昭和20年代—2編、30年代—0編、40年代—1編、50年代—4編、60年以降—10編となっている。昭和20年代は経験主義の国語教育の時代であり、その学習方法として、単元による方法（単元学習）が採られていた。益田中〈24〉、島大附中〈364〉ともに、国語科における単元学習の展開がうかがわれる。特に、島大附中のものは、昭和30年に近い時期のもので学力がつかないと批判された単元による方法を、「個人差に応じた学習指導」という点からとらえなおしたものである。

昭和30年以降昭和50年代後半まで、いわゆる「単元学習」と銘打たれたものは、本県の本史料においては見当たらない。『島根国語懇話会第15回夏期合宿研究会資料』〈135〉は、読書指導のテーマで行われたものである。ただ、そのなかの藤原悠実践（松江三中）に顕著のように、教科書教材を大きく包み込む形での単元化がなされたものが多く、「単元学習」に分類した。なお、島根国語懇話会資料は、第28回（昭和59年）「語い指導の実践—単元の発想・学習の充実感・内容と方法—」〈237〉、第35回（平成3年）「いきいきとした国語学習室の創造—話しことばによる通じ合いの指導—」〈337〉等、「単元学習」の発想のものとなってきている。

また、昭和50年代後半から昭和60年代前半にかけての久多美小の「個人文集」作りの実践〈168,267-269,277-280〉は、単元学習的発想のもとに生まれたすぐれた表現指導のワークシートである。そして、この久多美小実践には、国語科としてつけるべき能力に対する明確な自覚があり、この点で、いわゆる昭和20年代の単元学習と一線を画している。

平成元年版学習指導要領と「新学力観」の提唱により、近年「単元学習」と銘打たれた実践が増えてきているが、さきの久多美小実践のように歴史に学び、国語科の立場（筋）をどう通していくかが、ますます問われてくるだろう。